

長島洋先生を悼む



医療法人
岡村一心堂病院

岡山市東区西大寺南 2-1-7
Tel 086-942-9900
URL: <http://www.isshein.or.jp/>
E-mail: info@isshein.or.jp

長島洋先生を悼む

医療法人岡村一心堂 理事長 岡村 一博

4月24日朝、「長島先生が急死されました」の報告を聞き、我が耳を疑いました。つい数週間前、岡山東部病院協議会で会食し、親しくお話をしたばかりでした。ずっとお元気そうだったので、長島先生の訃報は全く信じられませんでした。

長島洋先生は瀬戸町生まれで鳥取大学医学部を卒業後、岡山大学法医学教室に入局、昭和57年に故郷に長島病院を開設されました。私は岡村一心堂病院を昭和63年に開設しましたから、先生は病院運営では6年先輩になります。ちなみに先生は昭和16年12月生まれ、私は昭和18年5月生まれですから1歳半、人生の先輩でもありました。

長島洋先生は医療法人天洋会の運営の他に、社会福祉法人天摂会を開設され、特別養護老人ホーム 多聞荘はじめ、ケアハウスたもん荘、多聞荘ショートステイセンター、多聞荘デイサービスセンター、多聞荘指定居宅介護支援事業所および、山陽多聞荘デイサービスセンターの施設を建築されました。さらにグループホーム多聞、山陽多聞荘デイサービスセンターを建設され、医療と介護の両面にわたって活躍されていたらっしゃいました。私は介護事業の事はよく分かりませんので、これからこの方面でご指導を受けたいと思っていたのに残念でなりません。介護施設には全て多聞の名が付けられ、多聞天への信仰の篤さが感じられます。

長島先生は「アジアに光を」という慈善活動をされ、フィリピンのゴミの山、スモークマウンテンに住む子供たちの救済で Singing Angels の活動をされていました。先生と親しくおつきあいをさせて戴くようになったのもここからです。

私が医師になったのは、親友と東南アジアで医療活動をしようとして子供時代に約束をしていたからです。ですから、長島先生からシンギングエンジェルのチケットを要請されたときは、手元にあったお小遣いの全部、と言っても僅かの額でしたが、供出致しました。

これが長島先生の気に入られたのでしょう、色々と交友が始まりました。なかでも忘れられないのはベトナム交流です。

あるとき、長島先生がベトナム投資コンサルタントの方に「岡山を代表する病院は岡村一心堂病院である」と紹介して下さい、この方が、岡村一心堂病院が気に入ったとの事で、ベトナム使節団を連れて、病院を訪問してくれました。長島先生はこの訪問に対して、「返礼のベトナム訪問」を企画して下さい、2008年のベトナムホーチミン市への訪問となりました。

その後も、陰に日向に岡村一心堂病院を応援して下さいました。西大寺近傍の病院長が集まって、互いに連携し合いましょうと提唱したときも、長島先生は率先して賛成して下さいました。この会は岡山東部病院協議会となり、私にとっては大切な会になっています。ここでは決まって先生にお会いすることが出来ました。それに引き替え、私から先生への恩返しは出来ないまま、今日の日になってしまいました。

フィリピンのゴミ拾いの子供達を描いた映画BASURAバサーラは四ノ宮浩監督、長島洋プロデューサーで製作されました。長島先生が心を痛めておられたフィリピンの子供達が描かれています。

先生はフィリピンの他に、カンボジアの貧困支援と学校建設、最近では第二次大戦で激戦のあったセブ島、レイテ島、ルソン島モンテンルパなどに犠牲者の慰霊に訪問され、慰霊碑保全に力を尽くされていました。岡山東部病院協議会でもしばしば東南アジアの生活、東南アジアに点在する慰霊碑保存のご苦勞をお話しされていました。長島先生は真言宗と天台宗の二つの宗派の僧侶の資格をお持ちで、「東南アジアの各地で読経してきました」とおっしゃっていました。先生の仏教への帰依の象徴は多聞天、つまり毘沙門様をお祀りした瀬戸毘沙門天王でしょう。大変大がかりなお寺で、訪問したときにはその規模に驚きました。

この様にお話ししていると、何時もの紺色のスーツでふらりと現れて、「やあ、みなさん、なにをさわいでるんですか」と言われるような気がします。それでも、先生が亡くなられたのは事実で、やがて浄土で蓮の葉に座られるのでしょう。

年年歳歳花相似たり 歳歳年年人同じからず

来る年も来る年も、花は変わらぬ姿で咲くが、それを見ている人間は、年ごとに移り変わる。長島先生、今生の別れです。

私達のベトナム交流にはホーチミン市までご一緒して戴き、私達の医療の良き理解者であっただけに誠に残念です。

ここに生前のご厚誼に御礼申し上げ、長島洋先生のご冥福をお祈り申し上げます。